

2019 年度事業方針

創設以来、世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会は、寛容な精神に基づく積極的な対話、諸宗教間の相互理解から生み出される叡智の結集、社会のあらゆる分野との協働、そして地球的視野で行動できる人づくりを実践目標に掲げ、「すべてのいのちをいかし合う世界」の実現を展望してきた。2019 年度もこの基本理念を踏まえ、（1）ネットワーク化、（2）啓発・提言活動、（3）平和教育・倫理教育、（4）人道的貢献の行動指針をもとに活動を実施する。

特に本年は 8 月ドイツ・リンダウで第 10 回 WCRP 世界大会が「慈しみの実践ー共通の未来のために」をテーマに開催される。世界の宗教者との連携をより深めた日本委員会の活動を展開していきたい。

国際レベルでの取り組み

昨今の国際情勢を見渡すと、政治・経済における米国と中国の深まる対立、英国の EU 離脱やフランスの激化するデモ等の欧州の混迷、複雑化を極める中東情勢の混乱、アフリカの貧困慢性化、気候変動の加速度的な悪化など平和への課題は枚挙にいとまがない。さらに韓国における徴用工判決などの歴史関連の問題や先行き不透明な朝鮮半島情勢など東アジア地域の平和を脅かす要因が多々存在する。これらの背景には独善的な自国中心主義がはびこり、国際関係において強い相互不信をもたらしている。

このような現在の国際社会において宗教者の役割は非常に大きい。排他独善的なあり方を反省し、共に生きることの大切さ、生命の尊さのメッセージを絶え間なく発信することが求められている。古くから日本は、「大いなる平和」「大いなる調和」の精神を大事にしてきた。WCRP 日本委員会は、第 10 回 WCRP 世界大会や様々な国際会議、各タスクフォースの活動を中心に、「和」の精神をもとにした諸宗教連帯による平和実現に向けた取り組みを実施する。

タスクフォースの取り組み

2016 年度より開始された新しい枠組みのタスクフォースは、本年で 4 年目の活動を展開する。これまでの取り組みを現場レベルでさらに充実させつつ、それらの成果を世界大会で伝え、世界の宗教者とともに具体的な平和行動を実践する。

核兵器禁止条約批准タスクフォースは、2017 年に国連で核兵器禁止条約が採択されたことを受け、その批准をめざした活動を展開する。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）や日本パグウオッシュ会議、核軍縮・不拡散議員連盟（PNND）等との協働を継続する。そしてヒバクシャ国際署名の実施団体として核不拡散条約（NPT）関連会合において被爆者の方々とともに非人道性にもとづく核兵器廃

絶への世論喚起を促進する。

気候変動タスクフォースは、2017年度より実施している所沢市の「いのちの森づくりプロジェクト」を継続する。植樹や土地整備のためのボランティアを募集し、実際の地球温暖化対策を行う。また植樹祭やタケノコ掘りまつりなどを行い青少年への環境教育を実施する。さらにデジタル地球儀を活用した「感じる地球ワークショップ」を開催し、気候変動問題への啓発を進める。

和解の教育タスクフォースは、2017年～18年に実施された「平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー」の修了生が、これから実際に和解活動を展開する。養成セミナーで培った経験と知識を活かし、修了生とともに国内外の和解活動に着手する。

難民問題タスクフォースは、2017年度から開始されたシリア難民留学生受入事業を引き続き実施する。また難民保護とともに難民を生じさせる諸原因を学び、難民が発生しない世界に向けた学習を行う。

また災害対応では、東日本大震災復興タスクフォースが2018年度に本格的な活動の区切りを迎えた。しかしWCRPとして引き続き被災地の復興状況に関心を持ち続け、必要な支援が生じた際にそのあり方を検討する。

さらに2018年、新たに西日本豪雨復興タスクフォースを立ち上げ、災害ボランティアや特別な配慮を必要な方々への支援を行っている。引き続き、四国臨床宗教師会などの地元の宗教者と連携し、被災者の心のケアや障がい者への支援を実施する。また被災地域で犠牲者の追悼と早期復興のための祈願式を開催する。

アジアにおける取り組み

2014年にACRP事務局が東京に移転され、そして2020年には第9回ACRP大会が東京で開催されることとなった。その準備を含めたACRP執行委員会が2019年4月に開催される。日本委員会も積極的にACRPと連携し、より行動志向のACRPとして活動できるように協力する。

さらに東アジアにおける宗教者同士の信頼を一層深めることが重要である。2018年の第2回日韓指導者交流で議論した日本に存在する朝鮮半島の方々の遺骨奉還事業は意義あるものであり、日本委員会として協力していきたい。特に、まだ奉還が進んでいない北朝鮮のご遺骨に関して、韓国宗教人平和会議(KCRP)や朝鮮宗教人協議会(KCR)との連携の中から可能性を見出したい。

国際広報の取り組み

2019年度は世界大会、2020年度はACRP東京大会が開催される。これらの国際事業において日本委員会の理念や活動に関しての国際発信が求められるため、国際広報の充実を図る。

以 上